

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名			部名	企画総務部		
	02038-1	一般管理費(研修費)			室名	人事情報室		
	施策体系	基本施策の大綱	06:行政経営			財	会計	一般会計
		基本施策	01:自立した行政経営の推進			務	款	総務費
		施策の方向	06:人材の育成			科	項	総務管理費
	戦略プロジェクト				目	目	研修費	

②目的・概要	対象	職員	
	目的	平成23年度に策定した「亀山市職員長期研修計画」に基づき、職員の資質向上を図る	
	概要	市独自の職員研修の開催及び自主的な研究並びに資格取得に対する助成事業を実施する。	

③指標				27年度	28年度	
	①	名称	市独自研修の開催	計画値		
		補足		実績値	6	
				単位	回	
	②	名称	自主的な研究及び資格取得助成	計画値		
		補足		実績値	4	
				単位	件	
	③	名称		計画値		
		補足		実績値		
				単位		
	④	名称		計画値		
		補足		実績値		
			単位			

④事業の計画・実績	年度計画				年度実績				
					・技術職員研修 50人 ・事業創造研修 6人 ・地域まちづくり研修 80人 ・ハラスメント防止研修 64人 ・OJT研修 66人 ・コンプライアンス研修 40人 ・職員資格取得助成 4人				
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	1,517	平均給与額×③
		国庫支出金					一般職員人件費 ②	1,517	
		県支出金					所要人員 ③	0.20	
		地方債					臨時職員人件費 ④		
		その他					受益者負担額 ⑤		
		一般財源		821	639	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
		再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額							
		総人件費		①	1,517				
総コスト			⑥	2,156					

⑤事業の評価	【事業の成果】		総合判定 B まずまず進んだ
	・前年度の管理職に引き続き、階層を変えてハラスメント防止研修を実施したことにより、ハラスメント防止のための意識付けができた。 ・市政のリアルタイムなニーズに応じ、地域まちづくり研修を実施したことにより、地域内分権推進の必要性を理解させることができた。		
	【反省点・課題】		
	・自主研究グループ助成の利用者が少ない。 ・研修時期が年度の後半に偏る傾向となってしまった。		
【改善の方向性】			
対象者、研修時期が偏らないよう、年度ごとに計画的に実施する。 また市を取り巻く環境の変化に適応し続けるため、研修内容については適宜見直し、変化する研修ニーズに合わせたものとしていく。			
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 人事情報室長 草川 吉次